

2020年11月9日

高知工科大学の学生の皆様  
ご家族の皆様

高知工科大学長

## 第4クォータの授業実施方法について

第3クォータから全学年において対面授業を開始し、まだ対面授業の少ない学年もありますが、キャンパスに賑わいが戻ってきております。また、幸いなことに現在のところ、本学において新型コロナウイルスの感染者は発生しておらず、高知県内の感染状況も抑制されております。先日、第4クォータに向けアンケートを実施いたしました。その結果からも、学生の皆さんの不安感は緩和傾向にあることがわかりました。他大学でのクラスター事例は、会食やカラオケ、寮での共同生活を原因とするものがほとんどであり、授業を原因とするクラスターは報告されておられません。これらのことから、本学では予定どおり、第4クォータは全学年において、大人数の講義科目等一部科目を除き、可能な限り対面授業で実施することとしましたのでお知らせいたします。

なお、体調不良等、対面での大学活動参加の条件を満たさないために授業を欠席する学生等には、課題等の学修指示や録画した授業のオンデマンド配信等により対応いたします。

教室での座席は一席飛ばしにする等、第3クォータに実施していた感染防止対策は継続いたします。したがって受講環境は第3クォータと変わりませんが、一方で、対面授業実施科目が増えることから、キャンパス内滞在者数は第3クォータに比べ増加いたします。また、気温・湿度の低下につれ、ウィルスの生存期間が延び、より多くのウィルスが飛散する、換気が不十分になる等、感染拡大につながる要因も懸念されております。さらに、第4クォータは年末年始休業を挟むことから、帰省による感染拡大も考えられます。

大学としては、変則的授業時間の継続、食堂での感染防止対策の強化等、第3クォータ以上に学内での感染防止に努めてまいります。何より重要なのは、学生の皆さん一人ひとりの行動です。授業時間だけでなく昼食の時間、課外活動の時間、学外での生活においても、引き続き、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保等の感染予防を行い、「感染しない」「感染させない」行動に努めてください。

学内外の感染者発生状況等によっては、クォータ途中であっても、多くの、あるいはほぼすべての科目を遠隔授業とせざるを得ない、あるいはキャンパスの一時入構禁止措置をとらざるを得ない可能性があります。一人ひとりが気を緩めず行動に留意し、安全安心な大学生活を継続できるよう、協力をお願いいたします。